

令和4年度版 印西市環境白書の作成にあたって

「ひと まち 自然」が調和し、豊かで安心できる環境で暮らせるまち いんざい の実現に向けて



本市は、里山に代表される豊かな自然と豊富な水資源に恵まれた田園風景が広がるとともに、都市機能が集積された千葉ニュータウンを有しており、自然環境と都市環境が調和した、魅力あふれるまちです。

さて、本市では、令和4年3月に「みんなでつくる 自然と暮らしが調和した快適でやさしいまち いんざい」を将来環境像に掲げた第3次印西市環境基本計画を策定しました。

本計画では、自然環境・生活環境・循環型社会・脱炭素社会・人づくりの5つの分野ごとに基本目標を定め、市の環境保全に係る施策を総合的に推進するとともに、近年の2050年カーボンニュートラルに向けた国内外の動きを踏まえ、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)及び地域気候変動適応計画を内包することで、地球温暖化対策に関わる取組の充実を図っています。

令和4年度の環境に関わる動向としては、生物多様性に関する世界目標となる「昆明・モンテリオール生物多様性枠組」が採択されました。同枠組の主要な目標の一つとして「2030年までに陸と海の30%以上を保全すること」が定められ、生物多様性保全の重要性が世界でも強く認識されています。そこで、今回は特集記事として「30by30(サーティバイサーティ)」を取り上げました。本市の豊かな自然環境を後世に引き継いでいくためにも、自然環境及び生物多様性の保全に取り組んでまいりたいと考えております。このほか、生活排水対策、不法投棄対策、ごみの減量化・資源化等、様々な環境課題の改善を図るとともに、市民・事業者の皆様による環境配慮行動の普及促進を通じて、より良い環境づくりを目指してまいります。

この「令和4年度版 印西市環境白書」は、令和3年度における市の環境の現状と取り組みの進捗状況を掲載するとともに、令和3年度が計画期間の最終年度となる第2次印西市環境基本計画の総括をまとめました。第2次印西市環境基本計画における取り組みの成果と課題を踏まえ、今年度よりスタートした第3次印西市環境基本計画の将来環境像の実現に向けて、市民・事業者・行政が一体となり、環境負荷の低減と環境の保全に関する取り組みを推進してまいりたいと考えております。つきましては、本書を市民・事業者の皆様にご活用いただき、本市のより良い環境づくりに向けた取り組みの参考としていただければ幸いです。

令和5年3月 印西市長 板倉 正直

令和4年度版 印西市環境白書 目次

はじめに

1 印西市環境白書作成の趣旨	1
2 印西市環境基本計画	2
3 環境指標の達成状況	3
4 印西市環境基本計画の総括	7

第1章 いんざい環境特集

特集 2022 30by30（サーティ・バイ・サーティ）	14
------------------------------	----

第2章 基本目標の進捗状況

基本目標1 緑や水辺が身近に感じられる、自然と共生するまちを目指して	
1-1 緑や水辺を守り育てよう	18
1-2 生きものと共存しよう	21
基本目標2 安心・安全に暮らせる、環境に負荷を与えないまちを目指して	
2-1 生活環境に不安がないまちを目指そう	23
2-2 有害物質の排出・侵入を防ごう	28
基本目標3 都市としての魅力があふれる、快適なまちを目指して	
3-1 快適で住みよいまちにしよう	30
3-2 歴史・文化が感じられるまちにしよう	34
基本目標4 低炭素社会の構築に向けた、 地球環境に負荷を与えないまちを目指して	
4-1 地球にやさしいまちをつくろう	37
4-2 資源循環型のライフスタイルを実践しよう	40
基本目標5 環境配慮行動の実践者を拡大し、 みんなで環境を育てるまちを目指して	
5-1 環境を考え行動をする人を育てよう	42
5-2 環境配慮行動の実践を促すしくみをつくろう	43

第3章 印西市庁内エコプランの進捗状況

1 印西市庁内エコプランの概要	46
2 エネルギー等使用量及び温室効果ガス排出量	48
3 取り組み実施状況	54

資料編

1 環境に関する統計データ	資料- 1
2 環境施策進捗状況調査結果	資料- 19
3 温室効果ガス排出量の算出方法	資料- 42
4 用語解説	資料- 45

この「令和4年度版 印西市環境白書」は、主に令和3年度の実績に基づき、作成しています。

